

令和4年5月19日

題 コアホウドリの放鳥に協力しました

漁業調査指導船「ほうじょう」
機関員 島田 績

今回、自然環境保全センターから依頼があり、コアホウドリの放鳥に協力することになりました。

新聞等による報道で話題となりましたが、令和4年4月7日夕方、大磯町の路上にてコアホウドリを地域住民が発見し、翌日同センターへ持ち込まれたそうです。

コアホウドリは日本（環境省）の絶滅危惧 IB 類（近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの）に指定されている希少な鳥です。本種を保護した場合は、早々に沖合で放鳥しなければなりません。そのため、保護してから5日後、当場の漁業調査指導船「ほうじょう」の研究調査の際、同センターの方々に同行していただき、相模湾沖にてコアホウドリを放鳥することとなりました。

このような経緯でコアホウドリを乗せた「ほうじょう」は相模湾中央部分の海域を目指し出発しました。当日は天候も良く波も穏やかな中、船尾から放鳥することができました。放鳥後のコアホウドリは少し波に乗り漂流していましたが、しばらくして飛びたっていました。

今回、コアホウドリの放鳥に「ほうじょう」が協力できたことは非常に喜ばしく、今後も調査・研究業務にとどまらず、様々な県機関との連携や協力できれば良いと思います。



ゲージから取り出し



船の船尾から放鳥



放鳥した直後



飛びたっていました